

入札契約制度統一運用の取組状況について

1 趣旨

水道企業団では、令和 8 年 4 月から「建設工事」及び「測量・建設コンサルタント等業務（以下「コンサル業務」という。）」の入札契約制度を統一し、運用している。統一から約半年が経過した現在の取組状況等について報告する。

2 水道企業団の入札契約制度の概要

水道企業団では、令和 5 年度の事業開始以降、暫定的に従前の県・各市町の入札契約制度に準拠してきたが、令和 8 年 4 月からは次のとおり統一制度を運用している。

(1) 入札参加資格・格付等

入札参加資格			水道企業団独自の入札参加資格者名簿を運用
格付・格付別標準発注金額	建設工事	主要 6 業種※	水道企業団独自で格付・格付別標準発注金額を設定
		その他業種	県の格付・格付別標準発注金額を適用
	コンサル業務	土木関係建設 コンサルタント業務	水道企業団独自で格付・格付別標準発注金額を設定
		その他業務	県の格付・格付別標準発注金額を適用

※主要 6 業種：土木一式工事、水道施設工事、管工事、電気工事、電気通信工事、機械器具設置工事

(2) 入札方式等

区分		水道企業団制度	【参考】広島県制度
建設工事	入札方式	原則一般競争入札	1,000 万円未満：指名競争入札 1,000 万円以上：一般競争入札
	落札方式	2 億円以上：総合評価落札方式 2 億円未満：価格競争	6,000 万円以上：総合評価落札方式 6,000 万円未満：価格競争
	ダンピング対策	2 億円以上：低入札価格調査制度 2 億円未満：最低制限価格制度	低入札価格調査制度
	予定価格公表	2 億円以上：事後公表 2 億円未満：事前公表	9,000 万円以上：事後公表 9,000 万円未満：事前公表
コンサル業務	入札方式	原則一般競争入札	指名競争入札
	落札方式	5,000 万円以上：総合評価落札方式 5,000 万円未満：価格競争	業務内容を勘案し、総合評価落札方式の対象業務を選定
	ダンピング対策	5,000 万円以上：低入札価格調査制度 5,000 万円未満：最低制限価格制度	低入札価格調査制度
	予定価格公表	事前公表	事前公表

※金額は、請負対象設計金額（税込）

3 取組状況

(1) 水道企業団入札参加資格登録の状況（R8.9.11 現在）

【建設工事】主要 6 業種	水道企業団名簿（A）	県名簿（B）	比率（A／B）
土木一式工事	413	1,537	0.27
水道施設工事	279	500	0.56
管工事	250	782	0.32
電気工事	154	587	0.26
電気通信工事	62	269	0.23
機械器具設置工事	95	342	0.28
【コンサル業務】主な業務分野	水道企業団名簿（A）	県名簿（B）	比率（A／B）
土木関係建設コンサルタント業務	143	460	0.31
うち上水道・工業用水道部門	57	84	0.68

(2) 発注・契約件数（R8.9.11現在）

区分	発注件数 (件)	入札 手続中 (件)	契約済		契約に至らなかった案件		
			契約済 (件)	平均落札率 (%)	中止 (件)	不調 ^{※1} (件)	不落 ^{※2} (件)
建設工事 計	186	55	107	92.9	6	8	10
本部	13	4	5	97.6	—	4	—
竹原	4	—	4	90.7	—	—	—
三原	16	3	12	92.5	—	—	1
府中	2	1	1	97.8	—	—	—
三次	14	5	8	92.3	1	—	—
庄原	6	3	3	98.9	—	—	—
東広島	14	1	12	90.6	1	—	—
廿日市	27	4	20	95.7	3	—	—
安芸高田	9	4	4	91.3	1	—	—
江田島	6	2	3	99.6	—	1	—
熊野	2	1	1	99.8	—	—	—
北広島	2	—	—	—	—	—	2
大崎上島	2	1	1	89.7	—	—	—
世羅	17	1	16	88.1	—	—	—
神石高原	1	1	—	—	—	—	—
広島水道	51	24	17	93.1	—	3	7
コンサル業務 計	81	13	58	85.1	1	5	4
本部	8	3	4	94.6	—	—	1
竹原	1	—	1	79.7	—	—	—
三原	11	—	9	80.9	—	—	2
府中	1	—	1	89.3	—	—	—
三次	2	1	1	79.5	—	—	—
庄原	5	—	5	87.4	—	—	—
東広島	13	3	8	83.9	—	1	1
廿日市	7	—	7	94.1	—	—	—
安芸高田	10	3	5	79.6	—	2	—
江田島	1	1	—	—	—	—	—
熊野	2	1	—	—	—	1	—
大崎上島	2	—	1	79.7	—	1	—
世羅	2	—	2	86.3	—	—	—
広島水道	16	1	14	83.3	1	—	—

※1 不調：競争入札に付し入札者がいないとき、※2 不落：競争入札に付し落札者がいないとき

(3) 運用状況等

- 令和8年9月11日時点で、建設工事186件、コンサル業務81件を発注しており、そのうち建設工事107件、コンサル業務58件が契約に至っている。このことから、各発注機関において入札契約制度は概ね安定的に運用されており、入札参加資格の登録状況についても水道事業実施に特に支障は生じていないものと考えている。
- 入札手続きの不備などによる入札中止が7件発生していることから、通知文による周知やチェックシートの作成等により再発防止策を徹底していく。
- 労務費・資材価格の高騰や技術者不足などによる入札不調が、建設工事で8件、コンサル業務で5件発生していることについては、適切な予定価格の算出や工事着手日選択方式など入札不調の防止に努めている。
- 最低制限価格を下回る応札や応札者の工事費内訳書の不備などによる入札不落が建設工事で10件、コンサル業務で4件発生していることについては、応札者の理解不足による入札不落を防止するため、令和8年10月に最低制限価格算出方法の運用方法の明確化等の対策を実施している。

4 今後の予定

- 令和8年度 入札監視委員会の開催（第1回：11月、第2回：2月、第3回：3月）
令和9・10年度入札参加資格者名簿の申請受付（令和8年11月2日～）
- 令和9年度 優良建設工事等表彰、若手優秀技術者表彰の制度運用開始